



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 ユニチカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3103 URL <https://www.unitika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上埜 修司
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤本 真澄 TEL 06-6281-5721
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	88,173	5.0	1,769	△63.9	2,414	△46.6	1,101	△64.9
2022年3月期第3四半期	83,991	—	4,895	9.8	4,525	53.7	3,136	△32.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,898百万円 (△2.7%) 2022年3月期第3四半期 4,006百万円 (△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	15.15	8.83
2022年3月期第3四半期	50.20	25.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	198,021	46,667	22.5
2022年3月期	191,399	43,071	21.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,591百万円 2022年3月期 41,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	7.2	2,400	△60.0	1,800	△71.9	500	△77.5	3.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）ユニチカ設備技術株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	57,752,343株	2022年3月期	57,752,343株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	96,309株	2022年3月期	95,761株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	57,656,347株	2022年3月期3Q	57,656,940株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12,000.00	12,000.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				12,000.00	12,000.00
B種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	23,740.00	23,740.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				23,740.00	23,740.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、全体としては緩やかな持ち直し傾向が続き、感染症対策がWithコロナに向けた新たな段階へ移行したことに伴い、サービス業を中心とした非製造業において回復傾向が見られました。海外においては、欧米各国での金融引き締めや、中国における感染再拡大の影響等により世界的に需要が減退し、原燃料価格などのコスト高止まりと合わせて国内の製造業にマイナス影響を与えました。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画「G-S T E P 3 0 1 s t (ジーステップ・サーティ〜ファースト)」の最終年度を迎え、基本方針である、「強固な事業ポートフォリオの構築」「グローバル化の推進」「社内風土・意識改革」の実現に向けた施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比5.0%増収の88,173百万円となりました。一方、営業利益は、原燃料価格の高止まりや円安によるコストアップの影響を大きく受けて、同63.9%減益の1,769百万円となりました。なお、期初対比での円安により外貨建資産の為替評価益を計上した結果、経常利益は同46.6%減益の2,414百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同64.9%減益の1,101百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

【高分子事業セグメント】

高分子事業セグメントでは、これまで堅調であった需要が停滞し、原燃料価格高騰と円安の影響が重なり、価格改定に取り組んだものの大幅なコストアップにより苦戦を強いられました。

フィルム事業では、包装分野、工業分野ともに需要が一段落し、流通過程の在庫調整に伴い受注が減少しました。その中でも、ハイバリアナイロンフィルム「エンブレムHG」、シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」などの高付加価値品の販売は引き続き伸長しました。原燃料価格の高騰に伴い価格改定を実施しましたが、改定幅を超えるコスト上昇により収益が圧迫されました。この結果、事業全体で増収減益となりました。

樹脂事業では、各用途で中国でのロックダウンや感染拡大により工場稼働が減少しましたが、レジャー用途の販売好調と、価格改定の効果により売上高は増加しました。一方で、原燃料価格高騰の影響が価格改定の効果を上回りました。この結果、事業全体で増収減益となりました。

以上の結果、高分子事業セグメントの売上高は38,803百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益は3,372百万円（同39.3%減）となりました。

【機能資材事業セグメント】

機能資材事業セグメントでは、建築資材用途の販売は堅調でしたが、電子材料用途の需要が急減しました。原燃料価格や輸送コスト上昇の影響が続いており、収益面では苦戦しました。

活性炭繊維事業では、主力の浄水器用途の需要が停滞し、自動車用途の販売も苦戦しました。

ガラス繊維事業では、建築分野の不燃テント、シート等の販売が堅調でした。電子材料分野のICクロスは、半導体市況の悪化により第3四半期に入り需要が急減しました。

ガラスビーズ事業では、道路用途の需要が徐々に回復しましたが、反射材用途の販売は低調でした。

不織布事業では、国内の販売状況は概ね横ばいでしたが、海外への販売は順調に推移しました。また、スキンケア用途では需要回復の兆しが見えました。

産業繊維事業では、各用途で需要が減退し、販売が減少しました。また、原燃料価格の高騰により収益が大幅に悪化しました。

以上の結果、機能資材事業セグメントの売上高は26,210百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業損失は51百万円（前年同四半期は67百万円の利益）となりました。

【繊維事業セグメント】

衣料繊維事業では、欧州の景況悪化を受け、海外向け販売の回復にブレーキがかかりましたが、国内では主力のユニフォーム分野やレディス衣料を中心に需要が回復しました。一方で、原燃料高、円安、輸送費高騰など、サプライチェーン全般でのコスト上昇は続いており、収益が大幅に悪化しました。

以上の結果、繊維事業セグメントの売上高は23,103百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業損失は1,491百万円（前年同四半期は689百万円の損失）となりました。

【その他】

その他の事業につきましては、売上高は55百万円（前年同四半期比19.5%増）、営業損失は41百万円（前年同四半期は29百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ6,621百万円増加し、198,021百万円となりました。これは、主として現金及び預金と受取手形、売掛金及び契約資産が減少しましたが、棚卸資産、有形固定資産が増加したことによります。負債は、前連結会計年度末に比べ3,025百万円増加し、151,353百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が増加したことによります。純資産は、前連結会計年度末に比べ3,595百万円増加し、46,667百万円となりました。これは、主として為替換算調整勘定が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2023年2月7日）公表いたしました「営業外収益（為替差益）の計上及び2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,985	13,509
受取手形、売掛金及び契約資産	29,495	26,861
棚卸資産	29,398	37,455
その他	3,134	4,664
貸倒引当金	△87	△59
流動資産合計	80,926	82,431
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	19,269	27,549
土地	62,584	62,798
その他(純額)	22,274	18,444
有形固定資産合計	104,128	108,791
無形固定資産		
その他	2,238	2,249
無形固定資産合計	2,238	2,249
投資その他の資産		
その他	4,210	4,661
貸倒引当金	△104	△113
投資その他の資産合計	4,106	4,548
固定資産合計	110,472	115,589
資産合計	191,399	198,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,450	19,129
短期借入金	2,065	3,965
1年内返済予定の長期借入金	91,647	89,649
未払法人税等	598	97
賞与引当金	1,742	955
製品改修引当金	35	35
その他	9,228	10,124
流動負債合計	121,768	123,956
固定負債		
長期借入金	177	318
退職給付に係る負債	14,628	15,141
その他	11,753	11,937
固定負債合計	26,559	27,397
負債合計	148,328	151,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,301	12,301
利益剰余金	27,597	28,396
自己株式	△57	△57
株主資本合計	39,942	40,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	435	392
繰延ヘッジ損益	△1	△19
土地再評価差額金	6,313	6,313
為替換算調整勘定	△4,184	△1,813
退職給付に係る調整累計額	△1,208	△1,022
その他の包括利益累計額合計	1,354	3,850
非支配株主持分	1,774	2,075
純資産合計	43,071	46,667
負債純資産合計	191,399	198,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	83,991	88,173
売上原価	62,823	69,378
売上総利益	21,167	18,795
販売費及び一般管理費	16,271	17,025
営業利益	4,895	1,769
営業外収益		
受取利息	28	31
受取配当金	58	60
持分法による投資利益	25	—
為替差益	364	1,391
その他	337	332
営業外収益合計	812	1,816
営業外費用		
支払利息	837	791
持分法による投資損失	—	0
その他	345	379
営業外費用合計	1,183	1,171
経常利益	4,525	2,414
特別利益		
固定資産売却益	95	1
受取保険金	556	—
特別利益合計	652	1
特別損失		
固定資産処分損	779	644
固定資産圧縮損	398	—
その他	28	150
特別損失合計	1,206	795
税金等調整前四半期純利益	3,971	1,620
法人税、住民税及び事業税	563	245
法人税等調整額	278	310
法人税等合計	842	555
四半期純利益	3,129	1,064
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,136	1,101

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,129	1,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	△42
繰延ヘッジ損益	△16	△17
為替換算調整勘定	709	2,708
退職給付に係る調整額	203	185
その他の包括利益合計	877	2,833
四半期包括利益	4,006	3,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,926	3,598
非支配株主に係る四半期包括利益	80	300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,881	25,499	20,563	83,944	46	83,991	—	83,991
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,935	1,267	161	5,364	—	5,364	△5,364	—
計	41,816	26,766	20,725	89,308	46	89,355	△5,364	83,991
セグメント利益又は損失 (△)	5,553	67	△689	4,930	△29	4,900	△4	4,895

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能資 材事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,803	26,210	23,103	88,118	55	88,173	—	88,173
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,580	1,402	125	6,108	—	6,108	△6,108	—
計	43,384	27,613	23,229	94,227	55	94,282	△6,108	88,173
セグメント利益又は損失 (△)	3,372	△51	△1,491	1,829	△41	1,787	△18	1,769

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整によるものであります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。